

# 第45回保育総合研修会 開催要綱

テーマ

## 乳幼児期の保育・教育の質とは何か

～子どもの権利・SDGs（持続可能な開発目標）の視点で考える  
保育・教育の質とその向上のための新たなアプローチを探る～

趣旨

子どもの権利条約の国連採択 30 周年、日本が批准して 25 周年の節目を迎える年となる本年（2019 年・令和元年）。昨年度（2018 年）改定された保育所保育指針においても児童福祉法をもとに「子どもの権利条約」がより意識され、一人ひとりへの応答的な保育、主体的・対話的な活動の重視等、今まで以上に「子どもの最善の利益」を目指した内容となっています。

かねてより全国私立保育園連盟においても、その基本綱領の中に「児童の権利宣言（子どもの権利条約）の発揚に邁進する」とあり、広く社会への発信に取り組んできましたが、この節目の年度に、改めて乳幼児期の保育・教育の中での「子どもの権利（最善の利益）」のありようについて考えてみたいと思います。

また、昨年度は、本連盟も参画した厚生労働省による「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」が発足し、その「中間的な論点の整理」（2018 年 9 月 26 日）が出され、引き続き多角的な視点からの議論が進められています。一方、文部科学省では、「幼児教育センター」・「幼児教育アドバイザー」の本格実施が始まり、国会では当該事業を含め総合的に幼児教育の質の向上を目的とした「幼児教育振興法案」の成立に向けた動きが活発化しています。

今回の保育総合研修会では、それらの議論の動向にも注視しながら、子どもの権利とも関係が深い SDGs（持続可能な開発目標）4.2（※）の視点も視野にいれて、未来を担うすべての子どもたちに保障されるべき、これからの保育・教育とは何か、そしてまた、その質の向上のために取り組むべき課題や実践について、学びを深め考えあう機会にしたいと思います。

※ SDGs（持続可能な開発目標）4.2：2030 年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い早期の幼児の開発、ケア、および就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

**期 日** 令和 2 年（2020 年）1 月 22 日（水）～ 1 月 24 日（金）

**会 場** 神戸市・ANA クラウンプラザホテル神戸

**定 員** 600 名

**参加費** 21,500 円（非会員 23,500 円） \* 資料代および消費税を含みます。

**主 催** 公益社団法人全国私立保育園連盟

**協 力** 公益社団法人神戸市私立保育園連盟

**協 賛** A I G 損害保険株式会社・東京海上日動火災保険株式会社・有限会社ゼンポ・株式会社トーホ・株式会社サンワールド・一般財団法人総合福祉研究会

● 旅行企画・実施 名鉄観光サービス株式会社

## 第1日目：全体会

- 開会挨拶
- 基調報告・提言…塚本 秀一（全私保連 常務理事）
- 行政説明…厚生労働省（依頼予定）
- シンポジウム

### テーマ：保育の質向上をめぐる議論と、 そのための新たな研修のあり方を考える

#### ○ シンポジスト

大豆生田 啓友 氏（玉川大学 教授・「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」座長代理）

北野 幸子 氏（神戸大学大学院 准教授）

津村 俊充 氏（南山大学 名誉教授・一般社団法人 日本体験学習研究所 JIEL 所長）

#### ○ コーディネーター

那須 信樹 氏（中村学園大学 教授・全国私立保育園連盟 園内研修コーディネーター育成講座企画会議 委員）

今、国は保育の量的拡大とともに質的充実に向けての枠組みを加速する為に、平成30年5月厚生労働省は「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」を設置しました。

この検討会において平成30年9月に発表された「中間的な論点の整理」には、職員が率直に語り合い、互いに支え学び合う関係性（同僚性）の下、職員間の対話を通じて保育の理念を明確化することが必要とされています。また、令和元年5月以降、上記検討会から「保育実践の質の確保・向上に向けた取組のあり方」や「保育所保育指針に基づく保育の質向上に向けた実践事例集」などが出されています。さらに、令和元年6月の内閣府、文部科学省、厚生労働省連名の「施設型給付費等に係る処遇改善等加算Ⅱに係る研修受講要件について」の通知には、特定の条件のもとでeラーニングを含む園内研修が要件を満たすこととなりました。

そのような中、「研修等のあり方」という視点からシンポジストの方々の意見をお聞きするとともに、対話を通して、保育の質の向上のための、研修に対する新たなアプローチについて、皆さんとともに探っていききたいと思います。

- 懇親会

# 第2日目：分科会

## 第1分科会 定員 60名

テーマ：**園内研修コーディネーターの育成を目指して**  
～園内研修をデザインし、組織の未来を描く～

運営：研修部

講師：富山 大士 氏（こども教育宝仙大学 准教授）

保育の質を確保し、向上させてゆくためには、保育の可視化によって自園の保育の現状を省察し、子ども理解を深めることに加え、子どもの姿に応じて、未来への保育を創造してゆく組織風土の構築が重要です。

本研修会1日目のシンポジウムを受け、より具体的に“園内研修”についての取り組み方やあり方について、また、“園内研修をデザイン”する、コーディネーター的役割を担う人材の必要性とその育成について、講義・演習を通じて理解を深める分科会を企画いたしました。

研修に対する「新たなアプローチ、について共に学び、自園の未来を描いてゆきましょう。

## 第2分科会 定員 70名

テーマ：**0, 1, 2 歳児期の育ちを支える丁寧な保育とは**  
～非認知的な心の揺籃(ゆりかご)としてのアタッチメントを学ぶ～

運営：研修部

講師：遠藤 利彦 氏（東京大学大学院 教授）

『子どもは、怖くて不安であるような場合に、誰か特定の人にくっつくことで、「もうだいじょうぶ」という安全の感覚を得ることができます。そして、その経験が日常、繰り返されることで、自分は必ず護ってもらえるのだということに確かな見通しを持てるようになります。』～保育通信No.754 / 遠藤利彦氏：「非認知的」な心の揺籃（ゆりかご）としてのアタッチメント～より

本分科会では、このような人格形成の基礎となるアタッチメントの理論を学び、子どもたちの中に芽生える“確かな見通し”が、やがて「非認知」的な心の力としてどのように機能してゆくのか、何が大切にされなければならないのかの視点に立ち、0, 1, 2歳児期の保育を考えてゆきます。

## 第3分科会 定員 70名

テーマ：**主体としての心を育てる保育を実践するために3**  
～3歳以上児への養護と教育のあり方・保育者の主体性をエピソードから読み取る～

運営：研修部

講師：鯨岡 峻 氏（京都大学 名誉教授）

大倉 得史 氏（京都大学大学院 准教授）

平成30年度より施行された新保育所保育指針では、これまで以上に小学校教育への接続が強く意識されており、「育みたい資質・能力」として「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等

の基礎」 「学びに向かう力、人間性等」 の3項目が、また「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として「自立心」「共同性」「道徳性・規範意識の芽生え」 など10項目が挙げられています。新指針に沿った保育を行わねばならないのは言うまでもありませんが、他方で、そうした「力の育成」を直線的に目指すことにはある種の危険性も伴います。保育の最重要課題は何よりも「主体としての心」を育てることであって、学ぶ力や考える力といったものも、そうした心の育ちの延長上にあるものです。

今回の研修では、主に3歳以上児の主体としての心を育てるために不可欠な「養護的働き」と「教育的働き」と、そのような保育を担う「保育者の主体性」の在り方について、その考え方を「エピソード記述」の読取を通して具体的に理解する機会としたいと思います。

## 第4分科会 定員 60名

### テーマ：保育が変わる、インクルーシブな保育について考える

運営：研修部

講師：川田 学 氏（北海道大学大学院 准教授）

インクルーシブとは、障がいの有無、年齢、性別、国籍、宗教的背景などの、既成概念や枠組みから個人を見るのではなく、みんな固有の“その人”として見ることで、それぞれの人の想いや願いに心を寄せ「必要」に応じていくことです（川田学氏）。

そのような視点を大切にしたインクルーシブな保育とはどのようなことなのか、具体的な実践事例をもとに、皆さんで考えていきたいと思います。

## 第5分科会 定員 60名

### テーマ：子どもと食との幸せな関係づくり ～栄養士と保育士と一緒に考える豊かな食育～

運営：研修部

講師：小野 友紀 氏（武蔵野短期大学 准教授・管理栄養士）

島本 一男 氏（八王子市・諏訪保育園 園長、全私保連 保育・子育て総合研究機構 研究企画委員会 委員長）

園での食事は、重要な栄養補給の場であると同時に、長い将来にわたる「食を営む力」を育む大切な原体験の場でもあります。そして、子どもが主体的に食と関わり、人と一緒に気持ちよく食事を楽しむことは、自己肯定感を育み、心が育つことにもつながります。

この分科会では、園での食事にかかわる栄養士と保育士が、それぞれの専門性を活かし協力し合いながら、子どもと食との幸せな関係づくりのためにどんな実践ができるのか。子どもの権利やSDGs（持続可能な開発目標）の視点も交えて、共に考えあう機会にしたいと思います。

## 第6分科会 定員 60名

### テーマ：職員同士の育ち合いを支援する ～リーダーの役割とあり方～

運営：保育カウンセリング企画部

講師：大竹 直子 氏（千葉大学 カウンセラー）

保育現場は「育ち合い」の場です。子どもや保護者が育ち合うためにも、まずは、保育者同士で育ち合う関係や環境を育むことが大切です。そのとき、要となるのが「リーダー」の存在です。

この分科会では、育ち合いを支援するリーダーの「役割」と「かかわり方」を、心理学やコーチングの理論をとおして学び、考えていきます。また、リーダーとして抱えがちな多忙さや難しさ、課題などを語り合い、リーダーが元気に楽しく仕事をするための手がかりを見つけていきます。

当日は、グループで話し合いながら学びを深めるスタイルをとります。日ごろの頑張りを労い合いながら、語り合い、共に学び考え、楽しくリーダーとして仕事をするための具体的なヒントを見つけましょう。特に、リーダー層、主任先生、園（施設）長先生のご参加をお待ちしております。

## 第7分科会 定員 80名

### テーマ：子ども主体の遊びをとおして学ぶ保育へ ～今、はじめよう保育の見直し、伝えよう保育の質～

運営：保育運動推進会議

講師：大豆生田 啓友 氏（玉川大学 教授）

本年度子どもの育ちを支える運動では「『子ども主体の遊びを通して学ぶ保育』へ」をスローガンに掲げ運動を展開しています。多くの園で保育を変えていこうという取り組みが始まっています。しかし、「変えていきたいけど、どうやっていけば?」「何からはじめたらいいの?」など戸惑っている方も多いと思います。

そこで、本分科会では、保育を変えていこうとしている園長・主任の方を対象に、共に語り合いながら、質の高い保育を行える園へと変われるよう学びを深め、そして保護者へ「保育の質」とは何か伝えていけるよう共に学んでいきます。

## 第8分科会 定員 80名

### テーマ：すべての子どもに求められる制度の充実に向けて ～財政制度等審議会における議論の経過と子ども・子育て支援の将来～

運営：保育制度検討会

講師：宮島 香澄 氏（日本テレビ放送網株式会社 報道局解説委員）

松本 和也 氏（株式会社福祉総研 代表取締役）

平成27年度より、子ども・子育て支援新制度がスタートし、5年目が終わろうとしています。制度施行後5年の見直し時期を迎え、財務省の財政制度等審議会において建議されている公定価格の在り方や、土曜日保育の実態に伴う基本分単価の見直しなど、子ども・子育て会議の中で示されている経営実態調査に基づき、議論がなされました。

この分科会では、まず始めに社会福祉法人の財務諸表の見方をわかりやすく解説します。そして国の財政制度等審議会の委員を講師としてお招きして、国の議論の経過や6年目以降の方向性、財務省における議論の様子などを踏まえた、子ども・子育て支援の将来について考えてみたいと思います。

## 第9分科会 定員 60名

### テーマ：保育者のための法律！！ ～保育施設で起こり得るトラブルの予防と対応～

運営：事業部

講師：木元 有香 氏（鳥飼総合法律事務所 弁護士）

保育施設の顧客を多く担当し、自身も保育士資格を有する木元有香弁護士が法律家の立場から、保育施設で起こる問題について、現場(利用者と保育者)の視点を背景に、「園はどのような責任を負うのか」「保育者個人に問われる責任」、また「トラブルの予防と対策」など、保育施設で働くすべての保育者の方々を想定し、解説します。

後半では、子どもの主体性を大切にしながら活動を進めるなかで、職員間から保護者へ様々な情報を共有し、保育の活動に対する保護者の理解を得るために園からSNS等を活用した発信を行う上で、配慮・注意すべき点を弁護士の視点で助言していただきながら、パネルディスカッションを行います。

## 第3日目：記念講演

### テーマ：子どもの権利とSDGs（持続可能な開発目標）の 視点で考える乳幼児の保育・教育

講師：岡島 克樹 氏（大阪大谷大学 教授・国際子どもの権利センター（C-Rights）理事）

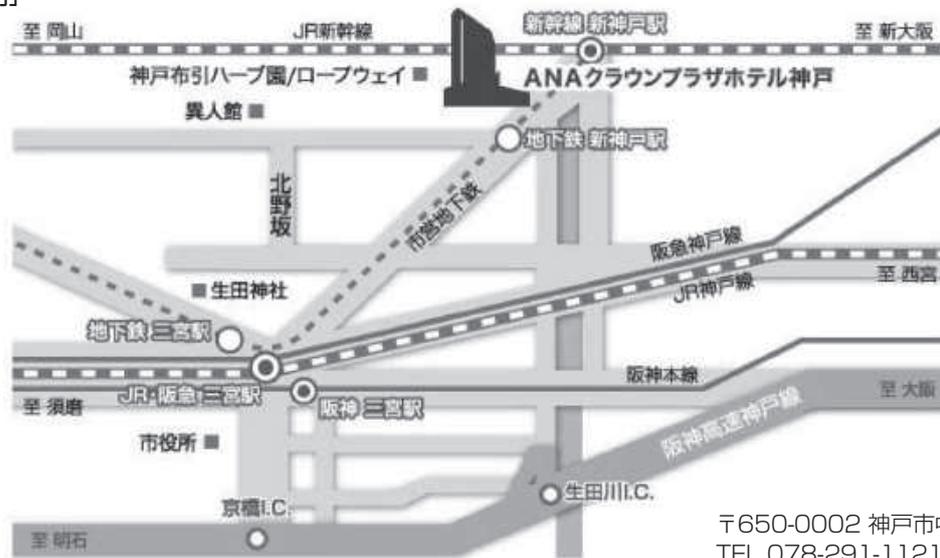
2030年に向け、地球上でくらすあらゆる人たちがより幸せに、誰も置き去りにされることなく大切にされる世界を築いていけるようにと国連で採択されたのがSDGs（持続可能な開発目標）です。SDGsは17の目標から成り立っており、その一つに「質の高い教育をみんなに」が掲げられています。持続可能な開発のための質の高い教育とは、より公平で調和的な社会に向けてみんなが協力し、遠い未来まで営みを続けていくことです。そのためには私たち一人ひとりが身近な社会課題に関心を持ち“今できること”を積極的に行っていくことが目標達成への第一歩だと思います。

子どもの権利とも密接に関係しあっているこのSDGsの概要と、それが就学前の保育・教育にどのように影響しているのかを岡島克樹氏よりご講演いただき、未来を担うすべての子どもたちに保障されるべき質の高い保育・教育とは何かということを探っていきたいと思います。

# 研修日程

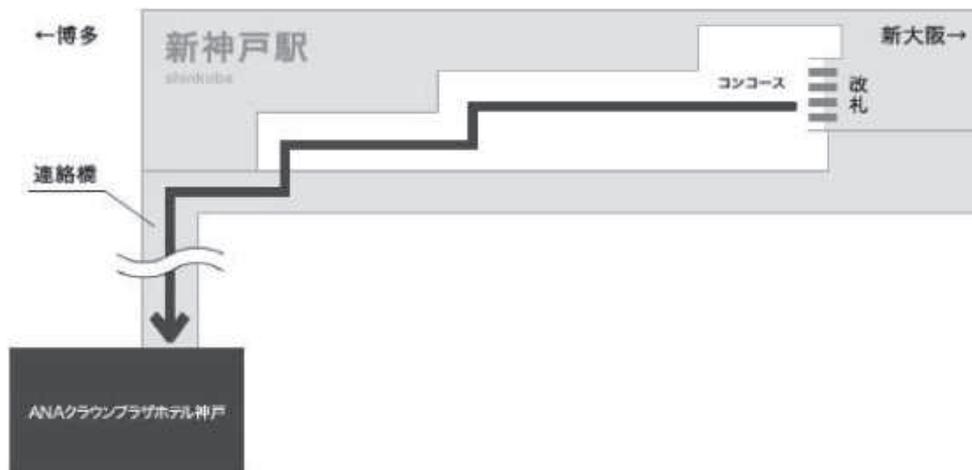
		12:00	12:30	13:00	14:00	14:15	17:00	18:30
第1日目 (1月22日)	9:00	受付	開 会	基 調 報 告	行 政 説 明	休 憩	講 演・対 談	移 動
第2日目 (1月23日)		分 科 会		昼 食	分 科 会			分 科 会 打 合 せ
第3日目 (1月24日)		記 念 講 演	閉 会	16:30				
	9:30	11:30						

## [会場案内]



〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目  
TEL 078-291-1121 / FAX 078-291-1154

- ◆山陽新幹線・神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結
- ◆三宮（JR・阪神・阪急）より市営地下鉄でひと駅
- \*関西国際空港より三宮まで：空港リムジンバスで70分
- \*神戸空港より三宮までポートライナー18分



- ◆新幹線 新神戸駅からのアクセス  
改札口からコンコースを直進し、  
突き当たり左側の連絡橋渡ってすぐ

# 参加申込方法

## 1. 参加申込書の送付

別紙お申込書に必要事項ご記入の上、ファックスにて下記までお申込下さい。

名鉄観光サービス株式会社内 「第45回 保育総合研修会」 担当：吉永

〒101-0041 東京都中央区新富町1-8-9 THE GATE GINZA EAST 8F

TEL：03-6262-8151 / FAX：03-6262-8148

営業時間：月～金曜日 9:30～17:30 (土日祝日休み)

## 2. 当社から申込受理に関するご返信

- 申込書を受領後、当社より2週間以内にファックスにてお客様宛て研修会申込受理のご回答をさせていただきます。その際にお申込を頂きました内容の金額と分科会を明記致します。

## 3. 参加費のお支払

- 当社からの申込受理のファックス到着後1週間以内に参加費等を下記銀行口座宛てお振込み下さい。(請求書は発行致しておりません。)

振込み先	三菱UFJ銀行 新東京支店 普通預金 3318356
	口座名義 名鉄観光サービス株式会社

- ・ 振込み名義は、法人格・法人名は省略し、施設名のみでお願いします。
- ・ 振込み手数料は、お客様各自にてご負担下さい。
- ・ 原則領収書は発行致しません。振込時の利用明細書をもって領収書の代りとしてさせていただきますので申込書とともに必ず保管して下さい。

## 4. 参加券等の発送

- 参加費のご入金確認後、1月8日頃に参加券等最終案内をお送り致します。
- 参加分科会はこの最終案内でご通知致します。
- 参加券等は当日必ずご持参下さい。

### 参加申込に関するご注意事項

- [申込書 兼 受付確認書] は施設ごとに1枚ご記入下さい。(用紙不足の場合はコピーしてお使い下さい)
- 分科会ご参加について
  - ・ 各分科会とも定員制となっておりますので、お早めにお申込下さい。
  - ・ 定員を超えた場合、他の分科会へ振替をお願いする事となります。必ず第2希望までご記入下さい。(第2希望のご記入がない場合は、こちらで振り分けをさせていただきます)
- 昼食について
  - ・ ホテル内にも複数レストランがございますが、限られたお時間の中混雑する可能性がございますのでご留意下さい。なお、ホテル規定により会場でご用意するお弁当以外の食べ物の持込はご遠慮頂いておりますので、予めご了承下さい。
- 追加・変更・取消が発生した場合、「申込書 兼 受付確認書」控えにご記入の上、必ずファックスにてご連絡下さい。(申込日・変更日のご記入を忘れずをお願い致します)
- 「研修会取消」の場合
  - ・ 取消の場合でも参加費の返金はございません。
  - ・ 代理参加は可 (ただし、3日間通して同じ方の参加が原則となります)
  - ・ 欠席された方には研修会終了後、資料をお送り致します。
  - ・ 交通チケットのご予約は申込受付終了後、お客様ご自身にてご手配下さい。  
※体調不良、アレルギー等がございましたら、事前に事務局までご相談下さい。
- 個人情報のお取り扱いについて
  - ・ 「参加申込書」に記載された個人情報は慎重に管理し、本研修会の運営管理の目的に限り使用致します。
  - ・ 研修会の参加者名簿には「氏名」「都道府県・指定都市名」「施設・運営主体名」「職種」を記載致します。
  - ・ 本研修会の申込み受付等に関する業務を名鉄観光サービス(株)に委託実施するため、上記の目的の範囲に加え、宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有致します。

### 【研修内容に関する問合せ】

(公社) 全国私立保育園連盟 事務局 研修部

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10

TEL：03-3865-3880 / FAX：03-3865-3879

## 宿泊プランのご案内

(名鉄観光サービス株式会社との募集型企画旅行契約となります。旅行条件書(要約)もご参照下さい)

「第45回 保育総合研修会」ご参加のお客様へご来場に便利な宿泊プランをご用意させていただきました。下記プランご参照頂きますようお願い致します。

◆宿 泊 日：2020年1月22日(水)・23日(木) ※前後泊のお申込み承ります。

◆宿泊条件：「ANAクラウンプラザホテル神戸」ご宿泊プラン

(シングル1名1室利用またはツイン2名1室利用)

- ・朝食付、サービス料、消費税が含まれたお1人様1泊あたりの代金です。
- ・客室数の都合上禁煙、喫煙のご希望に添えない場合がございます。
- ・朝食が不要な場合でもご返金は出来ません。個人勘定及びこれに伴うサービス料、諸税は各自でご精算下さい。
- ・ツインをご希望のお客様は申込書に同室者名を必ずご記入下さい。  
(同室希望者が他施設の場合は、施設名及び同室者のお名前をご記入下さい。)

◆ご旅行代金：各タイプともお1人様当り1泊朝食付きの料金となります。

シングル (1名1室利用) 15,000円 (税金・サービス料含む)

ツイン (2名1室利用) 13,200円 (税金・サービス料含む)

◆行程表：

日程	行程	食事
1	ご自宅または各地 ⇒ (各自移動・お客様負担) ⇒ 宿泊地	朝：×、昼：×、夕：×
2	宿泊先 ⇒ 研修会会場 ⇒ 宿泊地	朝：○、昼：×、夕：×
3	宿泊先 ⇒ 研修会会場 ⇒ (各自移動・お客様負担) ご自宅または各地	朝：○、昼：×、夕：×

◆添 乗 員：同行いたしません。

◆最少催行人員：10名様

### 懇親会のご案内

◆出席ご希望の方は所定の申込書の「懇親会申込」欄にご記入下さい。

<日 時> 2020年1月22日(水) 18時30分～20時30分

<場 所> 「ANAクラウンプラザホテル神戸」内宴会場にて (初日の研修会終了後行います)

<会 費> お一人様 9,000円 (税金・サービス料込)

### 昼食 (お弁当) のご案内

◆お申込みの方は所定の申込書の「昼食弁当申込」欄にご記入下さい。

<日 時> 2020年1月23日(木)

<費 用> お弁当 1食 2,200円 (税金・サービス料込)

※お申込みは事前申込みにて承ります (当日販売は致しません)

※お弁当のお渡し：1月23日(木) 当日会場にて

第45回 保育総合研修会

申込書 兼 受付確認書

送信先FAX 03(6262)8148

新規 ・ 変更 ・ 取消

○で囲んでください

都道府県		
組織名		
	会員	非会員
登録コード番号		

申込日	月	日
変更①	月	日
変更②	月	日

受付NO

名鉄観光サービス(株) TEL 03(6262)8151

□FAX到着後1週間以内にお支払いください

申込締切日 2019年11月29日(金)

□定員に達していますのでキャンセル待ちとなります。

入金はお待ちください。(キャンセル待ち 番目)

施設名	フリガナ		
住所	(〒 - ) ※必ず記入ください		
連絡先	TEL - -	FAX - -	
担当者連絡先	氏名	連絡先(携帯番号等)	- -

《 記入例 》

《 参加者① 》

《 参加者② 》

《 参加者③ 》

参加者名	必ずご記入ください		フリガナ	フリガナ	フリガナ
参加者名	コウベ ハナコ 神戸 華子				
職名	園長				
性別・年齢	男・ <input checked="" type="radio"/> (50)歳		男・女 ( )歳	男・女 ( )歳	男・女 ( )歳
参加費 <small>(会員21,500円/非会員23,500円)</small>	<input checked="" type="radio"/> 会員 非会員	21,500	会員 非会員	会員 非会員	会員 非会員
22日(水) 懇親会 (9,000円)	<input checked="" type="radio"/> 要 不要	9,000	要 不要	要 不要	要 不要
23日(木)	希望分科会	第1希望 1	第1希望	第1希望	第1希望
		第2希望 4	第2希望	第2希望	第2希望
	昼食 (2,200円)	<input checked="" type="radio"/> 要 不要	2,200	要 不要	要 不要
宿泊希望	21日(火)前泊	シングル	シングル	シングル	シングル
		ツイン	ツイン	ツイン	ツイン
	22日(水)	シングル	シングル	シングル	シングル
		<input checked="" type="radio"/> ツイン	13,200	ツイン	ツイン
	23日(木)	シングル	シングル	シングル	シングル
		<input checked="" type="radio"/> ツイン	13,200	ツイン	ツイン
24日(金)後泊	シングル		シングル	シングル	
	ツイン		ツイン	ツイン	
宿泊代	26,400				
同室希望者	たいとう保育園 蔵前 華代				
喫煙禁煙希望	喫煙 禁煙	○	喫煙 禁煙	喫煙 禁煙	喫煙 禁煙
個人小計	59,100				
備考				合計金額	円

○返金の場合の送金先

銀行名	支店名	口座番号(普通・当座)	口座名義(フリガナをつけてください)

## ご旅行条件（要約）

お申込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をお受け取り頂き、事前にご内容のご確認の上お申込み下さい。

### ○募集型企画旅行契約

この旅行は名鉄観光サービス(株)銀座支店（東京都中央区新富1-8-9 観光庁長官登録旅行業第55号。以下「当社」といいます。）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます。）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

### ○旅行のお申込及び旅行契約成立

所定の申込書にご記入頂き、ファックスにてお申込下さい。

旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、旅行代金を受領したときに成立するものと致します。

### ○旅行代金のお支払

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって21日目にあたる日より前（もしくは当社が指定する期日まで）に全額お支払頂きます。

### ○旅行代金に含まれるもの

各プランに明示した宿泊代、懇親会、昼食代及び諸税が含まれます。

### ○取消料

旅行契約成立後、お客様のご都合で契約を解除される時は、下記の取消料を収受致します。

契約解除期日	取消料(お一人様)
旅行開始日の前日から起算して21日目にあたる日以前の解除	無料
旅行開始日の20日目に当たる日以降8日目に当たる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前日から起算して7日目に当たる日以降前々日に当たる日まで	旅行代金の30%
旅行開始日前日	旅行代金の40%
旅行開始日当日	旅行代金の50%
無連絡不参加及び旅行開始後	旅行代金の100%

### ○国内旅行保険への加入について

ご旅行中、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかる場合がございます。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また死亡・後遺障害等を担保するためお客様ご自身で十分な額の国内旅行保険に加入する事をお勧め致します。詳細については、販売店の係員にお問い合わせ下さい。

### ○個人情報の取り扱いについて

当社は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させて頂くほか、お客様がお申込頂いた旅行において宿泊機関等の提供するサービスの受領のための手続きに必要な範囲内で利用させて頂きます。また、大会運営に伴い大会主催事務局へ情報を提出し利用させて頂きます。

### ○旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件・旅行代金は2019年9月1日を基準としております。

<旅行企画・主催> 観光庁長官登録旅行業第55号 一般社団法人日本旅行業協会正会員

## 名鉄観光サービス株式会社 東京中央支店

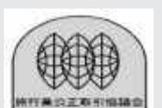
〒104-0041 東京都中央区新富1丁目8-9 THE GATE GINZA EAST 8F

TEL: 03-6262-8151 FAX: 03-6262-8148

(月~金 9:30~17:30 土・日・祝休み)

総合旅行業務取扱管理者 比留間 啓介

<担当> 吉永 康明



承認番号 K-19-52